

雑がみ類はリサイクル しましょう!!

包装紙・メモ紙・名刺等の小さな紙も、立派な資源！捨てずに、毎週第1水曜日の資源物回収に出しましょう！

◆集積所への出し方

- ①メモ紙、付せん紙、刺等
②使い古しの封筒に入れる
③雑誌と一緒に紙ひもで結び、集積所に出す



【問合せ】環境課

廃棄物対策係（小城庁舎）

担当 久原、川崎

☎73-8803

小城市廃棄物中継センター は祝祭日も運営しています!!

祝祭日もごみの受入れを行っています。平日になかなかごみの持込みができない方はぜひ、ご利用ください。

◆祝祭日の受入時間

8時30分～16時

【問合せ】環境課施設係

（小城市廃棄物中継センター）

ター（牛津町）内

☎63-8832

人権のまど

「名水は名水のままだ」の

ために

社会教育指導員 早田圭吾

人権は、生活権へと拡がり、

そこに環境権も組み込まれて

きていると聞きます。小城市

では名水サミットが開催され

ました。そこで、ここ数か月

の間で見聞きたことの中から

気がなったことを書かせて

いただきます。

「富士山」の伏流水で、今湧

き出ているその湖の水は、標

高2千メートル付近に降った

雨水で、しかも50年程前のものとのこと。「天山」山系の小城の水は『まだ旨い』と聞きました。ただ、いつまで旨いかは？とのことでした。

ある近隣の地域では残留肥料等の窒素分が多くてま

ずいとか。水サミットでのキャッチフレーズは水から

（自ら）できること、つたえることでした。実は人権も自ら

なのです。

「名水は名水のままだ」…。そのため私にできる自（水）

からのことは、除草剤や農薬の散布を1回でも少なくする

こと。化学肥料よりほかし菌利用などの有機肥料を1回でも多く使うこと。

それが私の水サミット後の自ら（水から）の課題（テーマ）になったことです。懇談

会でのビデオ「人権入門」のなかのセリフ「人権は日常生活のなかで空気みたいなもの」とありました。

人権は日常生活の伏流水ともいえる存在なのか…と一人

みように納得しているらしいです。

人権擁護委員の委嘱

国民の基本的人権の擁護のため大きな役割を果たされている人権擁護委員が、3月31日の任期満了に伴い新たに委嘱されました。

今回、法務大臣から委嘱を受けられた人権擁護委員は、前回に引き続き再任された円城寺昌子さん（小城町横町）と新たに就任された一ノ瀬一磨さん（小城町畑田）のお二人です。

任期は、平成22年4月1日から平成25年3月31日までの3年間です。



●まちの話題

佐賀県産材の長いすの寄贈

「佐賀県みどり会」（佐賀県林務技術職員退職者会）が、5月10日、小城市に木製長いす5脚を寄贈されました。

佐賀県みどり会は地球環境に優しく、温かみがある木製品の良さをPRするため、平成17年から毎年、佐賀県産材を利用した長いすを製作し、県内の小中学校や公共施設等へ寄贈をする活動をされています。

市では多くの方に利用していただけるよう、桜城館、ドゥイング三日月、市民図書館芦刈分室に設置いたしました。

